

③ 国際的視点の重要性

エネルギーの選択は、我が国の社会の将来像を方向付け、国際社会での日本のポジションを左右する可能性がある。原発事故を踏まえ、我が国のエネルギー政策がどう変わるかについて世界から大きな注目が集まっている。我が国の選択は、国際エネルギー市場や他国のエネルギー政策に少なからず影響を及ぼすことも考えられる。

我が国のエネルギーミックスの選択に当たっては、こうした国際的な視点を忘れてはならない。米国の影響力の相対的な低下や「アラブの春」等により中東や北アフリカ情勢は流動化しており、これら供給地域の地政学リスクが上昇していることに加え、需要面においても中国やインド等の新興国の台頭により資源獲得競争が激化している中で、ジオポリティカルな検討をより一層深化させる必要がある。

また、米国におけるシェールガス革命や欧州等における再生可能エネルギー導入拡大など、国際的なエネルギー情勢の動向も的確に踏まえた選択を行う必要がある。

さらに、深刻化する資源制約や地球温暖化問題などの世界が直面する課題に対して、我が国がいかに積極的に貢献するかという視点や、外交・経済・技術の面で国際的相互依存が高まり、グローバル競争が熾烈化する中で、我が国がいかにして国際的な発信・発言の基盤を確保し、国としての強靱性や競争力を確保するかという視点が重要である。